

メロングリソディン

媒体名	健康産業新聞	掲載日	2013年1月2日号
タイトル	「特別企画 ロコモティブシンドローム対策素材」		

ニュートリション・アクト メロン抽出物

(株)ニュートリション・アクト（東京都港区）は、ロコモティブシンドローム対応素材としてメロン抽出物素材『メロングリソディン (GliSODin)』の提案を強化する。『メロングリソディン』は体内の抗酸化酵素を誘導する働きを持つ特許素材として、抗酸化作用や抗疲労作用、炎症抑制作用といった機能性を持ち、これにより、継続運動の妨げるになる疲れや膝の痛みを改善するほか、加齢による細胞ダメージの蓄積防ぎ、体の機能低下を抑制するアプローチにより、ロコモティブシンドロームに対応できるという。

『メロングリソディン』は、フランス・アヴィニョン地方の特殊なメロン抽出物と、小麦グリアディンを結合した植物コンプレックス素材。細胞内のSOD、グルタチオンペルオキシダーゼ、カタラーゼといった抗酸化酵素を誘導し、体内の抗酸化能を相対的に高める作用を持ち、「抗酸化酵素の誘導」をはじめ「DNA保護作用」「紫外線に対する保護作用」など多数のエ

ビデンスを持つ。

抗疲労に関する有効性試験については2004年に海外で発表。44人の健常者に4週間摂取してもらい摂取前後で被験者に激しい運動負荷を実施。運動前後に乳酸値の変化を比較したところ、メロングリソディン摂取群は乳酸値の増加を有意に減少させた。他にも抗疲労に関する研究をポーランドや日本国内で検証している。

このほか、ミトコンドリアDNAの活性酸素を低減することでダイエットサポートも期待されるほか、炎症性のサイトカインであるTNF- α を抑制することで炎症抑制作用も確認しており、更にグルコサミンとの炎症抑制の相乗効果も確認されており、関節炎の抑制に期待ができる。

疲れやすさを軽減するなど中高年の健康維持が図れることから、同社ではロコモティブシンドローム対応素材として提案を強化するほか、集中力を高めスポーツのパフォーマンスを向上する素材としても提案していく。